

第1学年3組 学級活動案

平成20年6月13日（金）第3校時
 授業者 T1 教諭 ， T2 養教

1 題材 てはきれいかな？

2 題材設定の理由

低学年は、健康・安全に関する基本的な生活習慣を身につける大切な時期である。児童たちは、保育園・幼稚園時代から繰り返しているいろいろなことを習い、実践してきた。1年生に入学してからも、新しい環境の中で、トイレの使い方や手洗い・廊下の歩き方など、健康・安全に関するいろいろな事柄を学んできた。今、梅雨の時期を迎え、清潔な生活の基本である「手洗い」について改めて取り上げたい。ただ洗えばよいのではなく、どんな洗い方がよいのかに気づき、正しい手洗いの習慣を身につけ、清潔な生活を目指していける児童にしたいと考えこの題材を設定した。

3 児童について

家庭での様子を聞くと、学校から帰ったらまず手を洗っているという子は多く、手洗いの習慣がある程度身に付いているようである。学校では、入学当初の生活指導で、手洗いのしかたは学んだが、学校生活に慣れるにつれ、トイレの後、慌てていて手を洗わなかったり、給食の前の手洗いも石けんを使わずそそくに洗ったりする子が見られるようになってきた。清掃活動も始まったが、清掃後、その都度声かけしないと洗わない子もいる。また、爪が長く汚れが目立つ子も2～3人いる現状である。

4 指導について

保健機器「手洗い上手」を使い、手のどこの部分の汚れが落ちにくいか気付けたい。実際に手洗いをし「手洗い上手」で自分の手を見る、初めての体験であるので、児童からいろいろなつぶやきが出ると思われる。気持ちを十分受け止め、一人一人の意欲を引き出し、研究テーマである表現につなげていきたい。また、保護者への啓蒙も行い、家庭でも実践できるようにしたい。

5 本時の目標

どこに汚れが残りやすいか気づき、正しい手洗いのしかたを身につけることができる。

7 準備物

保健機器「手洗い上手」3台 写真ニュース（よごれが残っている手）
 ワークシート

8 本時の学習過程

学 習 活 動	支 援（・）と 評 価（☆）	
	T 1	T 2
○どんなときに手を洗うか思い出す。 ・トイレの後 ・給食の前 ・体育の後 ・外から帰ったとき ・遊んだ後 ・掃除の後	・体育や外遊びなど毎日の生活で手が汚れることを思い起こさせる。	
○手が汚れているとどうなるのか考える。 ・おなかがいたくなる。 ・ばい菌がたくさんいる。 ・へんなにおいがする。		・手の汚れには病気になるばい菌がいることを知らせる。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 病気になる。 ○ ふだんの手の洗い方で汚れが残っていないか確かめる。 <ul style="list-style-type: none"> ① 試薬をつける。 ② 石けんで手を洗う。 ③ 「手洗い上手」に手をかざして中をのぞき、白く光っているところがないか確かめる。 ④ 白く光っているところがあったらワークシートの手の絵に色を塗る。 ・ 汚れていたところを発表する。 指と指の間 指の先 爪 手のひらの横 ○ 正しい手の洗い方を知り練習する。 ○ 正しい手の洗い方で手洗いをする。 ○ 「手洗い上手」で確かめる。 ○ 感想を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ はじめは汚れがたくさん残っていてびっくりした。 ・ 気をつけて洗ったら汚れが全部落ちてうれしかった。 ・ これからはもっと丁寧に洗いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の驚きに共感しながら、活動を支援する。 (児童を3グループに分け支援員と3人で支援する。) ☆ 汚れが残っているところに気付くことができたか。 (ワークシート・発表) ・ 今度こそきれいに洗おうという児童の意欲を受け止め支援する。 ☆ 正しい手の洗い方を身につけようとしているか。 (態度) ・ 思いを表現しようとする気持ちを大切にし、感想を丁寧に聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動のやり方を説明する。 ・ 児童の驚きに共感しながら、活動を支援する。 ・ 正しい手の洗い方や洗にくいところを伝え、練習させる。 ・ 今度こそきれいに洗おうという児童の意欲を受け止め支援する。 ・ 正しい手洗いへの意欲をもたせる。
--	--	--